

経皮的冠動脈インターベンションを施行した症例の背景や治療手技と治療成績などの関連性の研究。

1. 研究の対象

当院で2018年1月から2020年12月までに心臓カテーテル治療(経皮的冠動脈インターベンション)後の再造影検査を受けられた方が対象になります。

2. 研究目的・方法

経皮的冠動脈インターベンションを施行した方の背景や治療手技と、治療成績などの関連性を検討することで、治療成績の向上を図ることが目的です。方法は高知大学医学部附属病院にて2018年1月から2020年12月までに経皮的冠動脈インターベンション後3か月から12か月で確認の冠動脈造影を施行した方と、それぞれの標的病変における治療成績を検討します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、病歴、生活習慣、基礎疾患、カテーテル治療の方法、治療の成否、合併症などを用います。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

連絡先：783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮 088-866-5811

高知大学医学部 老年病・循環器内科学 宮本雄也

研究責任者：高知大学医学部 老年病・循環器内科学 野口達哉